

学校給食センター整備運営事業(PFI)について  
所感

岡南市においてPFI導入調査が終了し導入する方針とのことを受け笠岡市への視察となった。たぶんPFI事業導入について岡南市議会でははじめての視察であろう。

業務委託リース方式等の比較検討をされメリットデメリットを明確にし導入への準備の方針を示された。

岡南市の担当職員も熱心に研修に取り組んでいるとのことも報告された。

笠岡市としてはこれまで調査研究は十分に取り組んでいる内容の説明であった。

しかし経験のない事業であり今後必ず生じる検証は続くものと思える。

少々気になる点は

1. 所有権
  2. 熱源を電気としたオール電化施設
  3. 15年の期間、また15年後の対応
  4. 運営上不測の事態の時の対応
- についてであった。その答として、

1. については建築は完成までは市の所有、完成後市の所有権となる。
2. オール電化での対応とする。

学校給食センター整備運営事業(PFI)について

所感

3. 30年の例もあるがコストの問題もある。増えるのではととがえている。10年~15年という中で15年という結論を総合的に判断し結論を出して、また15年後の長期修繕計画を作成し対応する。

4. 15年の期間であるので何か起きても不測の事態のバックアップ体制は整えるべきこと。

なのである。

~~笠田~~ 笠田市ではかなり時間をかけての綿密な調査研究が進められてきたと思う。

しかしそのままの状況で同南市が取り入れても

業者の組み合わせと専任的業者の組み合わせ

~~資金力~~ 資金力、技術力などを中心としたノウハウが

それぞれの組み合わせが判断材料となる。

私達はもう少し先達市の状況を観察し

予備量のための給食センターの将来について

判断していきたい。

## 児島ボートレース場の概要

主体は倉敷市競艇事業局、昭和 27 年 4 月 26 日に旧児島市同 11 月 22 日児島郡福田町が 3 割出資し初レース後 42 年に合併で倉敷市が誕生し、旧児島市の事業を引き継ぎ、50 年 6 月総社市他 7 町村（現在は 2 市 2 町）による備南競艇事業組合が第 2 施行者として事業に参加している。

売上は、年度最高売上が平成 6 年度の 815 億 2700 万円、1 日の最高入場者が平成 11 年 8 月 29 日開催のモーターボート記念優勝日の 25,784 人平成 27 年度は売上 316 億 300 万円、年間に入場者数 256,297 人 1 日平均 1,335 人と推移している。繰り出し金は累計 1293 億 7400 万円、納付金は 171 億 5800 万円だが、昨年 27 年度は繰り出し金 3 億円納付金 0 円となっていて、ぎりぎり公営企業の役割を果たしている。また 28 年度は厳しい状況とのことだった。27 年度に取り組んだ事業として、①競技棟増築・改修工事 10 億 9600 万円（26 年～27 年）② 1 階スタンドトイレ改修工事 3,299 万円 ③スタンド全館分煙化 1,403 万円 ④正門棟新築工事の基本・実施設計 2,083 万円等、分煙以外はいわゆる老朽化対策になっている。場内の食堂で昼食を食べたが、とてもおいしかったとは言えず、こういったサービスから見直す必要があるのではないかと感じた。徳山で食べた事がないので早速チェックしてみようと思います。